

科目名	教育社会学（幼・小・中・高）		担当教員	中島 葉子	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED3EFE504
期待される学修成果	基礎教養 学校と社会				
アクティブラーニングの要素	グループワーク				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	本講義では、3つのテーマ（教育と社会階層、エスニシティと教育、学校安全）に注目し、具体的な教育問題や事例をとおして教育と社会との関わりについて実証的データを検討しながら考察することを目的とする。従って到達目標は、(1)各テーマにかかわる基礎的知識・理論を説明できる、(2)各テーマにかかわる実証データや資料を正しく読むことができる、(3)(1)、(2)を踏まえて各テーマについて考察、討議できる、(4)教育課題について社会学的視点に立って自分なりの考察ができる、とする。				
授業の概要	(1)教育と社会階層では、日本の学歴社会とは何かを理解したうえで学歴・学力と社会階層とのかかわりをデータから見ていく。データから解釈できることを教育の再生産論で確認し、さらに考察を深める。(2)エスニシティと教育では、異文化と出会うということはどういうことなのかを体験的に理解したうえで、様々なルーツの人々が暮らす日本の現状を理解し、「日本人」と「外国人」の境界の曖昧性を議論する。そしてこれらを踏まえてマイノリティの子どもたちのための指導のあり方について考察する。(3)学校安全では、リスク論を理解することで学校の安全と危険を客観的に見る視点を獲得し、それを踏まえて学校安全の課題と今後を具体的に考察する。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション
第2回	社会学の視点
第3回	学校の社会的機能
第4回	教育と社会階層 1－学歴社会
第5回	教育と社会階層 2－学歴社会の課題
第6回	教育と社会階層 3－学力格差はどのように読み解けるのか
第7回	教育と社会階層 4－教育の再生産論
第8回	教育と社会階層 5－学校教育は教育の再生産に抗することができるか
第9回	エスニシティと教育 1－異文化と出会うということ
第10回	エスニシティと教育 2－「日本人」という境界
第11回	エスニシティと教育 3－エスニシティと教育の現在
第12回	エスニシティと教育 4－エスニシティの視点から教育を考える
第13回	学校安全 1－学校リスク論
第14回	学校安全 2－学校とリスク
第15回	学校安全 3－学校安全の構築

事前学修	2時間	第1-3回：参考資料①第1章・②「II学校のある社会」の読了、第4-8回：参考資料③・配付資料の読了、第9-12回：参考資料④・配付資料の読了、第13-15回：参考資料⑤・配付資料の読了、次シリーズのレディネス・チェックの完了（授業中に指示）
事後学修	2時間	第1-3回：授業の考察の提出、第4-15回：授業中に出される課題を完了して提出
フィードバックの方法	討議・レディネス・チェック・事後学習課題へのコメント、各種レポートへのコメント	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	70%	説明課題45%、意見課題25%、採点基準は授業中に提示する。

上記以外の試験・平常点評価	30%	レディネ・スチェック10%、事後学習課題10%、授業中の討議への参加度10%
定期試験	0%	
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	小学校学習指導要領 ①加野・越智編著，2012，『新しい時代の教育社会学』ミネルヴァ書房、②酒井・多賀・中村編著，2012，『よくわかる教育社会学』ミネルヴァ書房、③苅谷，2012，『学力と階層』朝日文庫、④額賀・芝野・三浦，2019，『移民から教育を考える』ナカニシヤ出版、⑤内田，2015，『教育という病』光文社。			